

2年英語科の授業で台湾の中学校とオンライン交流を行いました

12月11日（月）～15日（金）の5日間、一日一クラスずつ、台湾嘉義市立大業實驗國民中學とオンライン交流を行いました。2学期の期末考査後に各クラスを6グループに分けて発表テーマを決めて3時間ほど準備をし、本番まであと1週間という大詰めところでインフルエンザが流行し、5クラスとも学級閉鎖になってしまいました。担当教師もインフルエンザに罹患して学校に来られない中、閉鎖中もタブレットのTeamsで原稿チェックを行いました。まだ欠席者も多い中、ギリギリ発表準備を間に合わせ、延期することなくオンライン交流が始まりました。相手校の音声聞こえにくいなどトラブルはありましたが、タブレットの画面に向けて英語で自己紹介すると、「Hi!○○!」と元気に名前を返してくれて、台湾でも人気の日本のアニメやマンガの紹介で写真を見せると、大きな歓声が起こりました。

お互い英語が母国語ではなく、つたない英語での交流でしたが、同じ年頃の生徒と英語で交流し、「通じた」瞬間は、とても刺激になったようです。最後のフリートークの中で、お互いの国の言葉で‘Thank you’の意味の「謝謝」と「ありがとう」を言い合って、皆で記念写真を撮って1時間ほどの交流が終了しました。

後日、兵庫県国際交流協会から寄贈していただいた記念品を相手校に送り、年明けには相手校からも記念品が届きました。

時間割を調整して準備時間を捻出して外国の学校と交流するのは簡単ではありませんが、このような機会を生徒に与えることは、とても意義のあることだと実感しました。

交流会の様子



全員で記念撮影



宝中から送った記念品



台湾から届いた記念品

